

小山武治さん(オーベルジュ・コヤマ主催)

矢崎泰久の友達紀行④



大分県と熊本県との県境に、一軒のオーベルジュが存在している。本場フランスでは、レストランが小さなホテルを兼ねていて、素晴らしい料理を提供する店があちこちに点在する。フランスで学んだ小山さんは、久住高原にその店を出して20年になる。

阿蘇山と久重連山に挟まれた絶景の地で味わうことのできる絶品の料理は生忘れれることはないだろう。何しろ小山さんは今でも古いシトロエンを自ら運転して、食材を求める粋なシェフだ。珈琲豆の焙煎からスタートしてフレンチに辿り着いた本格派でもある。

オーベルジュ・コヤマはフランスから直輸入した建材で建てられている。調度も床タイルに至るまで凝った造り。フルコースのディナーは、

マダムの公枝さんのドルチェで完璧にしめくられる。素敵な二人三脚に客は感動する。ちなみにこの連載の写真家小山茜はお二人の長女、というより作品そのものである。褒めすぎかな。

文 矢崎泰久 Yasuhisa Yazaki

1933年東京生まれ
新聞記者を経て1965年「話の特集」創刊
現在はフリージャーナリスト作家。
著書に「口きかん」(飛鳥新社)「話の特集」と仲間たち(新潮社)
「あの人がいた」(街から舎)「句々快々」(本阿弥書店)
「バカまるだし」「ふたりの品格」(共に永六輔と共著・講談社)
「人生は喜劇だ」(飛鳥新社)他多数。
テレビ・映画・ステージのプロデューサーとして活躍。

写真 小山茜 Akane Koyama

1981年大分県生まれ
写真家。国内外で幅広く活躍。
2015年パリ・マドレーヌ寺院「恒久平和展」展示
2016年「第10回モナコ・日本芸術祭2016」展示
芸術創造賞受賞
常識にとられない映像作家。
多岐にわたる撮影活動を続けている。